

コミュニケーションとしてのスピリチュアルケア

広島発

—いつでも・どこでも・だれにでもわかる—

竹原会場

10月23日(土)

PM 1:00～4:30

会場 大広苑

竹原市上新開3591-1

会員 500円

一般 1000円

定員 150名

第1部 1:00～2:15 講演 山崎章郎さん
「スピリチュアルペイン」と
「スピリチュアルケア」の解説

2:15～2:30 休憩

第2部 2:30～3:45 実演及びホールプレイ
講師 講評
3:45～4:00 質疑応答
4:00～4:30 セラピー／ハープ演奏

竹原事務局
〒729-2316

竹原市忠海中町2-5-3
広島・ホスピスケアをすすめる会竹原支部
TEL・FAX 0846-26-3788
(月～金 13:00～16:00)

主催／広島中央園芸緩和ケア地域連絡協議会、竹原地区医師会

後援／広島県医師会、広島市医師会、社団法人広島県看護協会、

NPO法人「みらいのまち」、財團法人がんセミナー、

緩和ケアを考える会・広島、NPO法人がん患者支援ネットワークひらしま、

乳腺疾患患者の会のぞみの会

(順不同)

思いやの医療を考える会、生と死を考える会・広島、乳腺疾患患者の会のぞみの会

(順不同)

主催／広島・ホスピスケアをすすめる会
竹原・ホスピスケアをすすめる会竹原支部
竹原事務局
〒730-8523

主催／広島・ホスピスケアをすすめる会

日本財團 助成事業
The Nippon Foundation

このシンポジウムは競艇の交付金による
日本財團の助成を受け実施します。



山崎 章郎 (やまさき ふみお) さん

講師プロフィール

「スピリチュアルペイン」は、自力ではどうにも出来ないほど重い苦悶からなった危機状況で、絶望的な状態になっている人々が、その状態でも生きる意味や希望を見つけるとして苦悶するが、なお見つけ難い状態にあるときの苦悩」と考えています。

そして「スピリチュアルケア」とは、その絶望的とも思える状態の中でも、新たに生きる意味や希望を見いだそうとする、それらの人々が潜在的に持っている力(スピリチュアリティ)を、引き出し、最終的には自分の力で、新たに生きる意味や、希望や、目的を見いだせるように支援すること」と考えています。スピリチュアルペインをもつ人の感情や気持ちに焦点を当てた支援の方法としてのコミュニケーションです。

昭和22(1947)年、福島県に生まれる。昭和50年、千葉大学医学部卒業後、8年間同付属病院第一外科所属。昭和58年から1年間、北洋サケ・マス母船の船医、ヨーロッパ放浪の旅、南極海底調査船の船医などを経験。昭和59年より7年間、千葉県八日市場市民病院の消化器科医長を務める。院内外の人々とターミナルケア研究会を開催し、末期ガン患者の延命・ガバ告知・ホスピスの問題を提起、平成2年初の著書『病院で死ぬということ』を開設。著書に『病院で死ぬということ』(正・続)『ここが僕たちのホスピス』『僕のホスピス1200日』『僕が医者として出来ること』『新ホスピス宣言』他。